



## 本年もどうぞよろしく願っています。

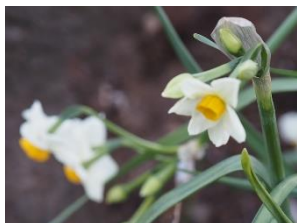
葛飾特別支援学校教職員一同

### 「飛躍の年に」

校長 村山 大介

令和5年という新しい年を迎えました。また、1月10日には3学期がスタートしています。

「一年の計は元旦にあり」という言葉があります。「一年のことは年の初めの元旦に計画を立てて行くべきである。物事は初めが大事である。」という意味です。ぜひこの時期にこの1年間頑張ること、目標を考え、実行できるよう計画してみてください。私は「時間を大切にすること」「人を大切にすること」を新年を迎えるにあたって決意しました。この二つの決意を日々確認しながら実践していきたいと思います。



3学期がスタートしました。始業式でお話ししましたが、この3学期はとても大切な時期です。3年生は卒業を間近にこれまでの高等部3年間の総まとめと卒業後の生活に向けた準備を短時間のうちに進めなくてはなりません。1年生、2年生は1年間の学校生活のまとめ、進級に向けた準備をする時期です。

新型コロナウイルス感染症の感染者の増減が日々報道されています。学校でも状況を把握しながらこれまでの感染防止、感染拡大予防に引き続き取り組んでまいります。学校行事の実施にあたりましては、感染防止、感染拡大予防の観点から事前事後の指導、実施方法や保護者の方々の参観方法を工夫し、安全安心な行事の実施に取り組んでまいります。新型コロナウイルス感染症については収束の兆しがなく、予断を許さない状況が続いております。どうぞ御理解、御協力をお願いいたします。

今年「卯年」。生徒たち一人一人が「飛躍」の年となるよう、教職員は誠心誠意尽くしてまいります。どうぞよろしく願っています。

### 「夢の実現に向けて」

主幹教諭 渡辺 浩子

1月9日は成人の日でした。成人年齢は18歳に引き下げられていますが、葛飾区、足立区の自治体では二十歳をお祝いする会が催されていきました。本校卒業生も参加したり、着物を着たりする人もいたようです。昨年の卒業生はもうすぐ卒業して1年となります。冬季休業中に、働いている様子を見に行きました。ある卒業生は、初めはミスをして立ち尽くすことしかできなかったけれど、今は、困っている新人がいると、助けたり、一緒にお客様に謝ったりしていると話してくれました。当たり前のように話している顔を見て、私自身が姿勢を正すとともに、会社の皆様が育ててくださっていることに感謝しました。

学校では1月12日に「プロフェッショナルから学ぼう」という授業で、講師にチームパフォーマンスラボの公演鑑賞とプロフェッショナルとしてお話を聞く機会がありました。公演内容はイリュージョンサーカスで、あっと驚く不思議な芸や、鮮やかな技に歓声を上げる場面もありました。演者の方から、プロフェッショナルな技を生み出すためには日々の努力しかないことをお聞きしました。生徒たちが将来に夢をもってすすんでいくことを願っています。



学校便りは音声でも確認できます。



学校便りは配布時期と学校サイト掲載日がずれる場合があります。